

道写協 札幌支部だより

北海道写真協会札幌支部
札幌市中央区大通西3丁目6
道新文化事業社内
011-241-5161

<http://www.doshakyo.org/sapporo>

「支部長就任あいさつ」



掛村 一憲 支部長

2月の総会（書面総会）で支部長になりました。

私みたいな優柔不断で楽天的人間に歴史と伝統のある札幌支部長の大役が務まるか、はなはだ心許なく不安です。しかし、一方では何とかなるだろう、という思いもあります。

それは私が一人でなく皆様が助けて下さると思っているからです。

今現在、相も変わらず新型コロナに翻弄されるとともに写真文化を取り巻く環境が厳しくなって札幌支部にとっても取り組む課題が多くあります。

その中でも一番の課題は「活気溢れる支部」だと思っています。

この「活気溢れる支部」を作るには何が必要と考えると「会員の増加」「会員の交流」に行きつきこれを目指したいと思っています。最初に述べた通り私自身はあーでもない、こーでもないと逡巡すること極まりない優柔不断な人間で非力な人間ですが、みんなに「優」しく、物事に「柔」軟に対応し、「不断」の努力を持って札幌支部長職に取り組んでいきたいと思いますので、今後とも皆様のご協力をお願いいたします。

札幌支部写真展

2022年3月17日(木)～3月22日(火)
道新ぎやらりー

入場者数は残念ながら400名で前年比2割減でした。コロナの蔓延防止期間であったこと、天候に恵まれなかったこと、雪が残っていて足もとが悪かったことが挙げられますが、入場者数に結びつくような何らかの特徴が必要かと思えます。モデル撮影会の写真コーナーや特別講師の作品提供依頼など今後の課題も見いだされました。毎年来場し、各写真の出来栄えや、展示の方法を学んでいるというお話も聞いたのが今後の励みになりました。



写真：「匠」掛村一憲

2021年第68回写真展 第2部1席 国士交通大館



2022 北海道写真協会札幌支部写真展

道新ぎやらりー(3月17日～22日)



(支部写真展当番記録から)

第69回写真道展

【一部（自由）】二席 北海道教育委員会教育長賞 「パパとおひる寝」

【三部（ネイチャーフォト）】二席 北海道新聞野生生物基金賞 「チングルマ笑う」



浦崎毅子さん

今回2席を頂いた「パパとおひる寝」は、夫と京都の秋を楽しもうと出かけた時の写真です。通りの向こうのお店でうたた寝をしている赤TEEシャツの子供に夫が気づいて教えてくれました。夫に感謝しながら撮りました。

「チングルマ笑う」は、友人と旭岳で撮影。目の前のチングルマが満開で、良いタイミングでした。2部の羊蹄山の写真も入選し、驚きましたがとても嬉しく、これからも楽しく写真を撮り続けていきたいと思えます。

(3部門での入賞・入選)



第一部 二席「パパとおひる寝」



第三部 二席「チングルマ笑う」



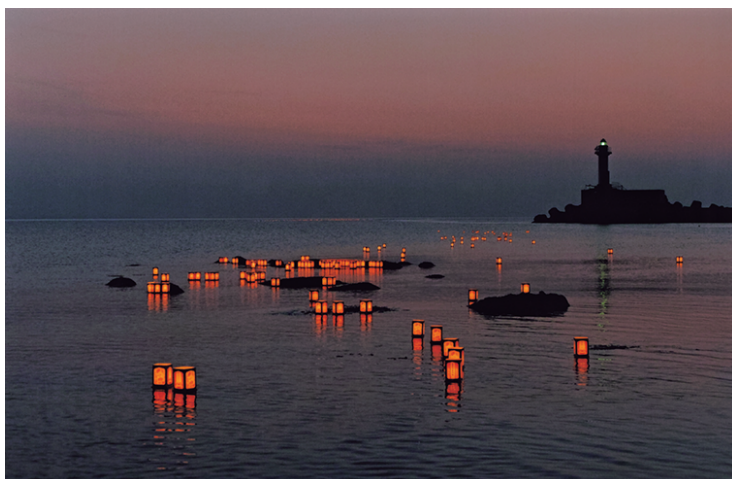
【一部（自由）】三席 「灯ろうに思いを」

片岡真弓さん

灯ろうを流す時に、コロナの終息を願い、家族の健康と安全を思い流していました。

また、様々な人達も色々な思いを乗せて流していると思いますのでタイトルもそのようにしました。

すてきな、喜びを『ありがとうございました』



【第二部（観光・産業）】 二席 ニトリ賞 「喜びの収穫」



掛村一憲さん



「写す方も写される方も喜んで」

何かいい題材はないかなーと思い、長沼町を車で走っていると前方の方にハサ掛けの風景が目に入りました。早速、撮影交渉です。すぐOKサインをもらい写し始めたら私と同じくらいの年配の方が夫婦なので、写真を撮ってほしい、子供と一緒に撮ってほしい、ハサ掛けの棚に昇っているところを撮ってほしい、などの要望が相次ぎ大変でした、最後に皆集まって記念写真を撮らせてほしいとお願いして撮った写真が2部産業・観光の2席になった写真です。この写真のほか50枚ぐらいをデーターにして代表の方に送ることになり皆様に喜んでいただきました。当然私の方も喜びいっぱいです。

(3部門での入賞・入選)

【第一部（自由）】 三席 「僕と弟」



高橋あや子さん



今回二回目の道展参加です。一回目は落選でしたので今回は一枚でも入選できたらと言う思いで応募しました。第一部三席の通知を頂き何度も確認しながら喜びを噛みしめました。

「僕と弟」は、円山動物園の双子の熊です。

二頭は、あまりにも早いスピードでじゃれ合っていたので連写撮影しました。

昨年札幌支部へ入会し、素敵な写真に触れ、審査の先生方のご批評を受けとても勉強になります。

これからも真摯に受けとめ学んでいきたいと思ひます。

(3部門での入賞・入選)



梅澤 勇二

三部門での入選を機にこれからも時間と体力の許す限り、写真を楽しみたいと思います

米澤 三千代

思いもかけない知らせに驚いています。

どれも自分の心が動いた瞬間でシャッターを押していたことに、今更ながら気づかされています。

これからも、瞬間の出会いを楽しみ、自分が心惹かれたものを少しでも表すことができるようになりたいものです。

健康にカメラを持って出歩けること、仲間や諸先輩から学びの機会を頂いていることに感謝しております。

三部門で入選の

喜びの声

林 繁造

毎年、3部門に応募するも3部門入選は初めて。第一部の糠平湖の二人の天使は、バブルアイス撮影中に会ったファミリーとの会話がきっかけ。二部の糠平湖の孤独は、星撮影のため雲が広がっても粘っていたら冬の蛍が。

三部の満月と残雪の十勝岳は皆既月食の時刻や方向を調べて狙うも、まさか火口の噴煙が月のお邪魔虫になるとは。

三部門入選は、出会いと粘りとハプニングから。これがあるので写真がやめられません。

<写真道展 入選者・入選作品名>

入賞4名5作品 入選12名 22作品
3部門入賞・入選 3名 3部門入選 3名

敬称略

第一部（自由）7名

梅澤 勇二 「紺碧の空を翔る」
掛村 一憲 「花を愛でる」
見野 則幸 「農家の手伝い」
林 繁造 「湖上に降りた天使」
藤田 昌宏 「松毬と日傘」
米澤三千代 「薫る丘」
尾張 一博 「リウマチと共に」

第二部（観光・産業）7名

梅澤 勇二 「食の魚」
浦崎 毅子 「朝焼けの羊蹄山」
見野 則幸 「鍛錬のとき」
林 繁造 「糠平湖の孤独」
米澤三千代 「霧雨のあとで」
片岡 真弓 「石狩灯台のライトアップ」
高橋あや子 「カムイへ捧ぐ」

第三部（ネイチャーフォト）8名

副馬 雅之 「湖の幻想」
飯高 光紀 「弾ける寒水」
梅澤 勇二 「命尽き果てる」
掛村 一憲 「冬のハス池」
林 繁造 「満月昇る十勝岳」
藤田 昌宏 「太陽の冠」
米澤三千代 「清流にゆれて」
高橋あや子 「無伴奏」

令和3年度 月例会

年度賞1位になって

1位 見野則幸 2位 林 繁造
3位 浦崎毅子 4位 掛村一憲
5位 梅澤勇二

新人賞 板垣 功

ほかの人が「もらう賞」だと思って
いた年度賞。

私がもらって驚きました。

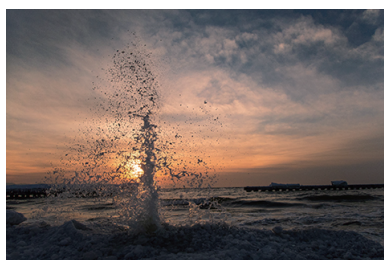
最近、毎月例会の作品をどれにするか決める心境は、写真道展に応募する「各部5点」を「悩みに悩んで選ぶ」ときの心境と同じだと感じるようになりました。

かつては各部10点、「何でもかんでも」選んでいました。

5点絞りが、毎月の「例会作品絞り」に繋がっていたのかもしれないと、つくづく思っています。

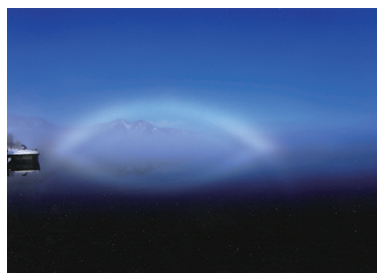
見野 則幸

< 3月 野勢 英樹 道新写真部長 >



1位 安田敏彦
「昇 竜」

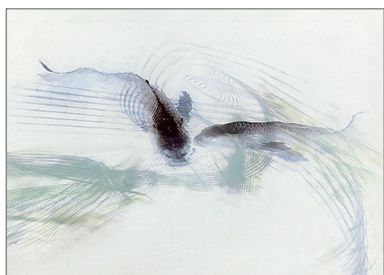
珍しい昇る波しぶきと仕上げが綺麗だ



2位 板垣 功
「霧の悪戯」

色が良く、白い虹の中に山の写っているのが良かった

< 4月 中野 潤子 特別会員 >



1位 高橋あや子
「風の旋律」

日本画の様。絵心を持って新しい作風に挑戦して欲しい



2位 安田敏彦
「時の隙間」

力強い構図と仕上げが綺麗だ

< 5月 > 新型コロナウイルス感染蔓延防止のため中止

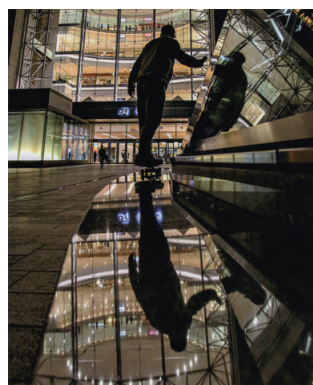
< 6月 > 新型コロナウイルス感染蔓延防止のため中止

< 7月 加賀谷 重雄 特別会員 >



1位 林 繁造
「尖塔のある風景」

残雪の十勝岳に満月
(スーパームーン)
狙いがよい。



2位 梅澤勇二
「クリスタルの輝き」

発想が良い。
また構図もおもしろい

< 8月 > 新型コロナウイルス感染蔓延防止のため中止

< 9月 > 新型コロナウイルス感染蔓延防止のため中止

< 10月 山下 智 特別会員 >



1位 見野則幸
「焼き方のひと振り」

写真は引き算であり、余計なものが一切入っていない。文句なくよい作品



2位 掛村一憲
「喜びの収穫」

皆の喜びの表情がとてもよい

< 11月 山本 純一 特別講師 >



1位 安田敏彦
「狭 間」

落ち着いた色彩とプリント仕上げが良かった



2位 浦崎毅子
「早春の蝦夷富士」

羊蹄山の手前に川の流れを入れた構図がよい。全体にもう少しアンダーの方がよかった。

< 12月 岸本 日出雄 特別講師 >



1位 飯高光紀
「浮かないモアイ」

氷や水面の質感が白黒プリントでうまく表現されている



2位 安田敏彦
「ウエーブ」

雪景色と水中の流れが上手く表現されている

< 1月 > 新型コロナウイルス感染蔓延防止のため中止

令和4年 予定表 (6月以降)

令和4年 予定表 (6月以降)		
月日	事業内容	会友作品披露他
6/17 (金)	例会 長谷川純一 特別講師 BC会議室	撮影会に向けた講話
7/3 (日)	モデル撮影会	北海道開拓の村
7/15 (金)	例会 加賀谷重雄 特別会員 7F特別会議室	写真についての講話
8/19 (金)	例会 山下 智 特別会員 7F特別会議室 撮影会コンテスト表彰式	写真についての講話 会友作品 難波 江
9/16 (金)	例会 山本隆晟 特別会員 7F特別会議室	写真についての講話
10/15 (金)	例会 小森 学 特別講師 BC特別会議室	講話 会友作品 渡辺 勝
11/18 (金)	例会 山本純一 特別講師 7F特別会議室	講話
12/16 (金)	例会 岸本日出雄 特別講師 7F特別会議室	講話
1/20 (金)	例会 武藤 省吾 特別会員 7F特別会議室	会友作品 原 禎子



会員拡大にご協力下さい。仲間を誘いましょう。希望者には道写協札幌支部のホームページをすすめてください。申込書もダウンロードできます。

入会歓迎

優れた作品を数多く見ることが出来るのがこの会の特徴です。月例会成績は道新札幌圏版に掲載され、知人友人からの反響が寄せられたりします。

ホームページ URL <http://www.doshakyo.org/sapporo/> 「検索」

道写協

